

# 農村における人材育成エコシステムの構築

研究期間：2018～2022年

## 研究背景・目的

### ●背景

農山村地域では、人口減少・高齢化が進む中で、地域や農林業の担い手となる人材が不足している。政府も人に対して直接的に支援する施策を展開するとともに、都市から農山村地域への移住・定住の促進を重点戦略として位置づけている。

地域の人材としては、地域コミュニティの担い手となる地域づくり人材と、地域ビジネス（農林業を含む）の担い手となる地域ビジネス人材という二つのタイプが想定されるが、そうした人材をどのように育成・支援するかが課題。

### ●目的

農山村地域の人材育成を進める地域社会システムを解明する。

※本研究はJSPS科研費8H02291「農村における人材育成エコシステムの構築に向けた実践的研究」（2018-2021）の助成を受けたものです。

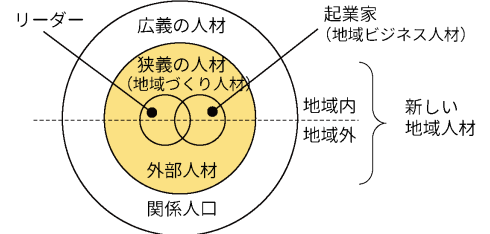
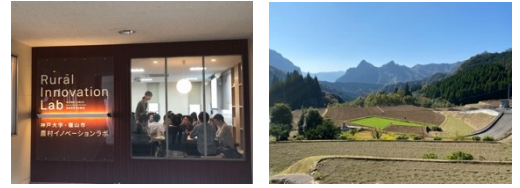


図1 想定する人材

## 研究方法

### ●研究方法

《アクションリサーチ》研究者と地域アクターが協働して、各地域課題に対応した人材育成の取組を進め、実践・内省から、その手法のモデル化、体系化を図る。

課題と解決手法の組み合わせでケーススタディを蓄積。実用のための「メソッド」として概念化して提示する。

### ●アプローチ

《エコシステム》人材育成を、その当事者も含めた多様なアクターの循環的な相互作用からなる現象＝エコシステムとして捉える

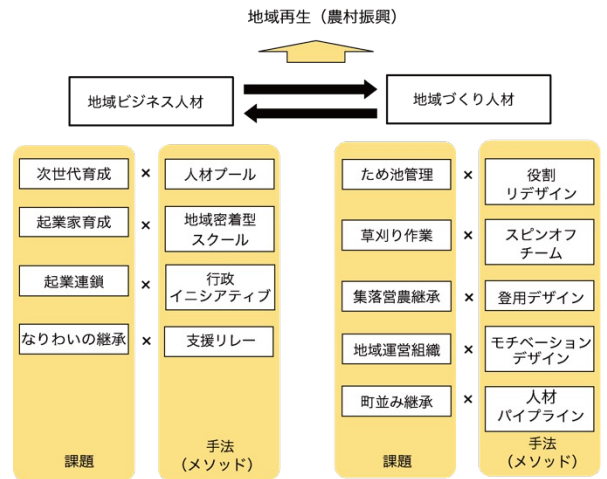


図2 事例とした課題と手法

## 結果と考察

### ●結果と考察

・人材育成の手法とそれを起点とした内発的な地域再生のシステムを解明し、エコシステムとして概念化（図3）

・新しい組織やプログラムなど「場」を加える、繋げる、外部化する等、既存組織の構造を変えることで人材は育成される

### ●政策的インプリケーション

・政府が進める「しごと、暮らし、活力」による農村振興策を具現化に貢献

・現場の人材育成課題に対応したメソッドを提示・普及（書籍化）

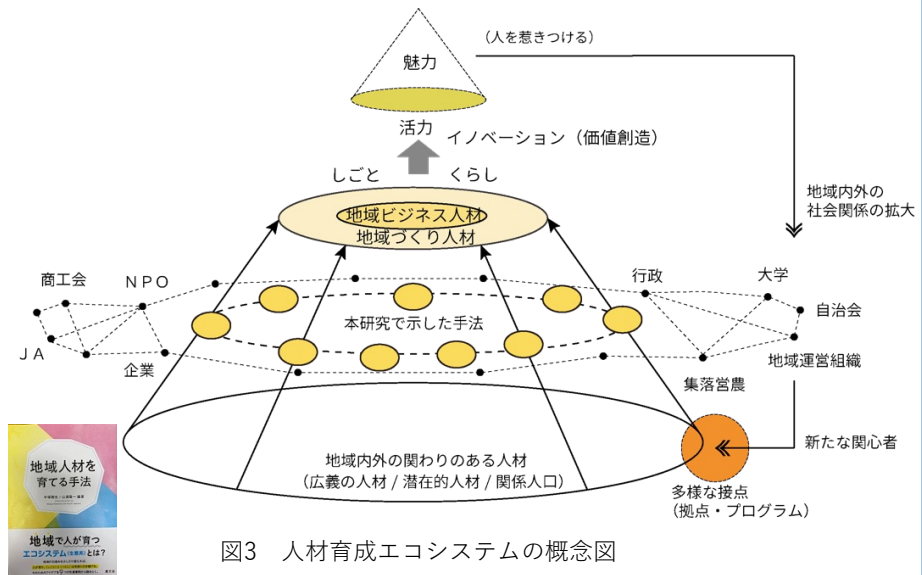


図3 人材育成エコシステムの概念図

## 著書

1. 中塚雅也・山浦陽一（2022）：『地域人材を育てる方法』，農文協
2. 中塚雅也（2022）：新しい人材育成，小田切徳美編著『新しい地域をつくる：持続的農村発展論』岩波書店

## 発表論文

1. 高田 晋史, 柴崎 浩平, 中塚 雅也（2021）：中山間地域の集落営農法人における世代交代のプロセス：島根県Y法人を事例として，農林業問題研究 57(4) 152-158.
2. Li Ji, Nakatsuka, M.,(2021):Residents' Awareness and Cooperation toward Starting a Farm-Stay Business in Response to Inbound Tourism: Case Study in Tambasayama City, Hyogo Prefecture, Japanese Journal of Agricultural Economics 23 107-112.
3. 谷川 智穂, 中塚 雅也（2021）：農村移住起業者の意向にみる集積形成のメカニズム: 丹波篠山市福住地区を事例として，農林業問題研究 57(2) 83-89.
4. 中塚 雅也, 谷川 智穂, 井筒 耕平（2020）：中山間地域における起業促進の支援システム: 岡山県西粟倉村を事例として，農村計画学会誌， 39， 238-244.

## 共同研究先

兵庫県（東播磨県民局），神戸市，丹波篠山市